

2016 年 10 月 11 日

報道関係各位

目には見えないトイレの菌が、子どもにとっての食中毒リスクに ウェブ動画『食中毒リスクのある大腸菌がトイレに潜んでいた！』

特設ページで公開中

(http://www.scrubbingbubbles.jp/campaign/alcobol_toilet_special.html)

高濃度アルコールなら 10 秒で大腸菌を 99.99% 除菌

ジョンソン株式会社（本社：横浜市/社長：鷲津雅広）は、トイレには食中毒リスクのある大腸菌が存在している可能性を提示し、その対策として高濃度のアルコールが効果的であることを訴求する動画を 2016 年 10 月 11 日（火）に公開しました。キレイに掃除しているつもりトイレにも見えない菌が存在しています。体が小さく免疫力も整っていない子どもを食中毒のリスクから守るには、見えない菌もしっかり除菌しなければなりません。子どものいる家庭においてもっと安心して快適なトイレ空間をつくるために、アルコールでの除菌が効果を発揮することを啓発しています。

■ウェブ動画『食中毒リスクのある大腸菌がトイレに潜んでいた！』

http://www.scrubbingbubbles.jp/campaign/alcobol_toilet_special.html

本映像は、小さな子どもが日頃してしまいがちなシチュエーションを用いて、子育て中の家庭において、トイレ掃除にアルコールを活用することの有用性を訴求した内容になっています。毎日の継続的な掃除習慣とアルコールでの除菌は、小さな子どもの健康のためにも重要です。

科学的証明

【参考】衛生微生物研究センターでの実験：

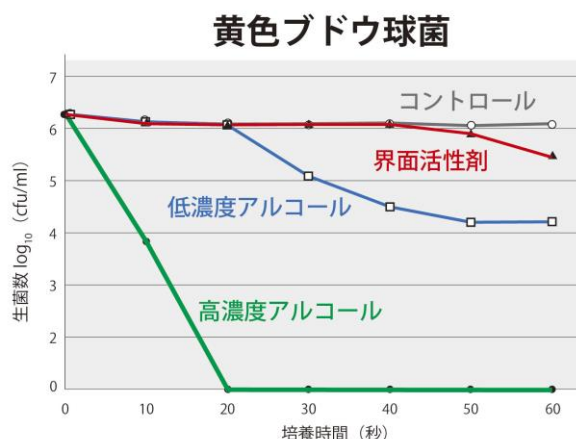
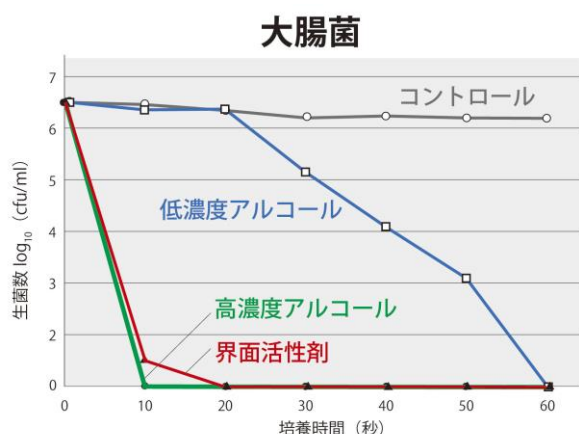
衛生微生物研究センター監修の実験では、アルコールでの除菌の有効性を検証しました。

その結果、高濃度アルコールが、黄色ブドウ球菌と大腸菌に対して 99.99% の高い除菌力を発揮することがわかりました。

黄色ブドウ球菌に対しては、高濃度アルコールは 20 秒後に 99.99% の除菌力を、大腸菌においては、

10 秒後に 99.99% の除菌力を示すなど、除菌にはアルコールが圧倒的に効果があることがわかりました。

高濃度アルコールの高い除菌効果



ウェブ動画『食中毒リスクのある大腸菌がトイレに潜んでいた！』概要

■タイトル：ウェブ動画『食中毒リスクのある大腸菌がトイレに潜んでいた！』

■公開日：2016年10月11日

■URL：特設ページ http://www.scrubbingbubbles.jp/campaign/alcohol_toilet_special.html

■概要



食中毒リスクのある
大腸菌がトイレに存在。



子どもは無造作に便器に
触ってしまうことがある。



子どもが触った場所には
大腸菌が付着している可
能性あり。



そこで、アルコールで便器を
さっとひとふき。



大腸菌にはアルコールが効
果的に作用し、99.99%
除菌できる



ジョンソン株式会社（<http://www.johnson.co.jp/>）は、住居用洗剤・消臭芳香剤・殺虫剤・食品保存用品などの世界的メーカーである S.C. Johnson and Son, Inc.（米国ウイコンシン州ラシーン、<http://www.scjohnson.com/>）の関連会社として、1962年に創業いたしました。日本市場で得た経験と、グローバル企業の強みを生かし、日本の市場と消費者から信頼を得られる革新的な製品の導入に注力しています。代表的なブランドとしては、カビ取り剤「カビキラー」、住居用クリーナー「スクラビングバブル」、消臭芳香剤「グレード」、排水パイプクリーナー「パイプユニッシュ」、風呂釜洗浄剤「ジャバ」、虫よけ剤「スキングード」、台所用廃油処理剤「テンブル」、シューケア製品「KIWI」などがあります。